

令和6年度「医薬品副作用被害救済制度に関する認知度調査」結果について

医薬品副作用被害救済制度及び生物由来製品感染等被害救済制度について、広く一般の方々に制度を知っていただき、また、医師・薬剤師等の医療関係者に制度への正しい理解を深めていただくことで本制度の確実な利用につながるよう、様々な形で広報及び情報提供をしております。

本制度の認知度等を把握し、より効果的な広報のあり方を検討するため、一般国民及び医療関係者を対象とした認知度調査(インターネット調査)を毎年度実施しており、このたび、令和6年度調査結果がまとまりましたので公表いたします。

今後、この調査結果を踏まえ、制度の周知や理解をさらに促進するために、関係団体等との連携による周知徹底や訴求対象に適した広報媒体を活用し、効果的な広報を展開してまいります。

別紙1 一般国民を対象とした認知度調査結果(概要)

別紙2 医療関係者を対象とした認知度調査結果(概要)

「令和6年度医薬品副作用被害救済制度に関する認知度調査」結果概要《一般国民》

1. 調査概要

- (1)調査対象 一般国民(全国の20歳以上の各年代(20代、30代、40代、50代、60代以上)ごとの男女、計3,094人)
- (2)調査方法 インターネット調査(登録モニターによるWEB調査)
- (3)調査時期 令和7年2月25日(火)～令和7年2月28日(金)
- (4)調査項目 制度の認知率、内容理解度、認知経路、集中広報の評価、関心度など

2. 調査結果の概要

(1)制度の認知率

- ・ 知っている＋聞いたことがある 26.3% (32.8%)
- ＜内訳＞ 「知っている」 6.3% (11.1%)
- 「聞いたことがある」 20.0% (21.7%)

○過去5カ年の認知率の推移

(単位:%)

集計項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
認知率	25.5	33.8	36.1	32.8	26.3
知っている	7.6	10.2	11.2	11.1	6.3
聞いたことがある	17.9	23.6	24.9	21.7	20.0

※令和2年度と6年度は同一調査会社、令和3～5年度は別の同一調査会社。

(2)制度の内容理解度(制度認知者ベース)

- ・ 公的な制度である 60.6% (57.7%)
- ・ 副作用による健康被害について救済給付を行う 53.4% (55.5%)

(3)制度の主な認知経路(制度認知者ベース・複数回答)

- ・ テレビ放送(CM) 29.9% (25.4%)
- ・ 病院等に掲示してあるポスター 22.9% (21.7%)
- ・ 人から聞いた/教えてもらった 21.3% (22.6%)
- ・ 新聞 13.4% (—)
- ・ 医薬品の外箱・説明書 12.5% (8.0%)
- ・ インターネット(PMDAホームページ) 12.3% (18.5%)
- ・ インターネット(バナー広告、YouTube等の動画サイト) 11.7% (13.7%)

(4)集中広報の評価

①テレビCMの認知率評価について

- ・ 認知率(見たことがある＋見たような気がする) 16.3% (9.3%)
- ・ テレビCMの評価は、「印象(記憶)に残った」が 62.7%(57.0%)、「興味や関心を持った」が 62.6%(57.4%)、「役に立つ情報が得られた」が 70.5%(70.8%)、「PMDAのホームページにアクセスしたくなった」が 44.3%(43.0%)

②薬局・院内ビジョンの認知率と評価について

- ・ 認知率(見たことがある＋見たような気がする) 11.0% (12.4%)
- ・ 薬局・院内ビジョンの評価は、「印象(記憶)に残った」が 67.4%(69.2%)、「興味や関心を持った」が 67.4%(67.3%)、「役に立つ情報が得られた」が 72.6%(76.5%)

③特設サイトの認知率と評価について

- ・ 認知率(見たことがある＋見たような気がする) 9.8% (9.9%)
- ・ 特設サイトの評価は、「印象(記憶)に残った」が 87.0%(71.8%)、「興味や関心を持った」が 87.0%(76.0%)、「役に立つ情報が得られた」が 79.9%(77.1%)

④新聞広告の認知率と評価について

- ・ 認知率(見たことがある＋見たような気がする) 8.9% (－) ※実施なし
- ・ 新聞広告の評価は、「印象(記憶)に残った」が 37.0%(－)、「興味や関心を持った」が 41.3%(－)、「役に立つ情報が得られた」が 45.3%(－)、「PMDAのホームページにアクセスしたくなった」が 35.4%(－)

⑤救済制度のリーフレットの認知率と評価について

- ・ 認知率(受けとったことがある＋受け取ったような気がする) 6.7% (10.2%)
- ・ 救済制度のリーフレットの評価は、「印象(記憶)に残った」が 65.5%(69.3%)、「興味や関心を持った」が 67.5%(69.7%)、「役に立つ情報が得られた」が 71.8%(76.0%)

⑥救済制度紹介動画の認知率と評価について

- ・ 認知率(見たことがある＋見たような気がする) 5.1% (6.5%)
- ・ 制度紹介動画の評価は、「印象(記憶)に残った」が 60.8%(64.5%)、「興味や関心を持った」が 62.0%(61.9%)、「役に立つ情報が得られた」が 69.3%(72.5%)、「PMDAのホームページにアクセスしたくなった」が 46.1%(47.3%)

(5)制度の関心度

- ・ 制度の関心度(関心が持てた＋やや関心が持てた)は 64.2% (68.0%)

○過去5カ年の関心度の推移

(単位:%)

集計項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
関心度	80.7	69.5	69.0	68.0	64.2

「令和6年度医薬品副作用被害救済制度に関する認知度調査」結果概要《医療関係者》

1. 調査概要

(1)調査対象 医療関係者(全国の医師、薬剤師、看護師、歯科医師、医療ソーシャルワーカー
計 2,410 人)

- ① 医 師 635 人 (病院勤務 320 人、診療所勤務 315 人)
- ② 薬剤師 669 人 (病院・診療所勤務 338 人、薬局勤務 331 人)
- ③ 看護師 634 人 (病院勤務 319 人、診療所勤務 315 人)
- ④ 歯科医師 366 人
- ⑤ 医療ソーシャルワーカー 106 人

(2)調査方法 インターネット調査(登録モニターによる WEB 調査)

(3)調査時期 令和 7 年 2 月 25 日(火)～令和 7 年 2 月 28 日(金)

(4)調査項目 制度の認知率、内容理解度、認知経路、関与度、制度利用の勧奨率など

2. 調査結果の概要

(1)制度の認知率

- ・ 制度の認知率(知っている+聞いたことがある)は 82.4% (84.3%)
 - <内訳> 「知っている」 57.5% (62.0%)
 - 「聞いたことがある」 24.9% (22.3%)
- ・ 職種別では、医師が 92.6%(91.0%)、薬剤師が 97.2%(96.8%)、看護師が 56.9%(65.7%)、
歯科医師が 84.2%(83.2%)、医療ソーシャルワーカーが 74.5%(－)

○過去5カ年の認知率の推移

(単位:%)

集計項目	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
認知率	83.8	82.6	83.8	84.3	82.4
知っている	60.3	62.4	59.5	62.0	57.5
聞いたことがある	23.5	20.2	24.3	22.3	24.9
(認知率内訳)					
医師	94.0	92.5	90.8	91.0	92.6
薬剤師	99.0	97.0	96.8	96.8	97.2
看護師	62.0	59.9	63.7	65.7	56.9
歯科医師	79.7	84.2	85.2	83.2	84.2
医療ソーシャルワーカー	-	-	-	-	74.5

※令和2年度と6年度は同一調査会社、令和3～5年度は別の同一調査会社。

(2)制度の内容理解度(制度認知者ベース)

- ・ 公的な制度である 88.5% (88.4%)
- ・ 副作用による健康被害について救済給付を行う 86.4% (87.9%)
- ・ 救済給付の請求には医師が作成した診断書などが必要である 74.6% (81.2%)

(3)制度の主な認知経路(制度認知者ベース・複数回答)

- ・ PMDAのホームページ 26.6% (28.8%)
- ・ 医療関係専門誌 21.5% (22.8%)
- ・ 人づてに聞いた・教えてもらった 18.4% (16.7%)
- ・ 医薬品安全対策情報(DSU) 13.4% (10.9%)
- ・ 勤務先での研修 13.2% (11.2%)
- ・ パンフレット・リーフレット 12.6% (12.3%)
- ・ 厚生労働省のホームページ 10.7% (8.1%)
- ・ 病院に掲示してあるポスター 10.3% (11.2%)

(4)制度への関与度(制度認知者ベース)

- ・ 制度の紹介、診断書・投薬証明書の作成など、請求手続きへの関わりについては、全体で 9.5% (11.6%)、医師が 13.4%(15.1%)、薬剤師が 10.2%(12.0%)、看護師が 4.2%(7.9%)、歯科医師が 4.2%(8.9%)、医療ソーシャルワーカーが 20.3%(－)

○過去5カ年の関与度の推移

(単位:%)

集計項目	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
関与度	7.0	13.6	14.8	11.6	9.5
(内訳) 医師	10.1	16.9	18.9	15.1	13.4
薬剤師	8.5	16.0	16.6	12.0	10.2
看護師	2.8	5.7	7.4	7.9	4.2
歯科医師	2.7	13.5	13.5	8.9	4.2
医療ソーシャルワーカー	-	-	-	-	20.3

(5)制度利用の勧奨率

- ・ 「制度利用を勧めたい」については、全体で 48.7%(54.8%)、医師が 53.9%(55.9%)、薬剤師が 60.4%(66.2%)、看護師が 31.9%(43.7%)、歯科医師が 49.5%(52.5%)、医療ソーシャルワーカーが 41.5%(－)
- ・ 「制度利用を勧めたくない」は、全体で 5.0%(5.1%)、「どちらとも言えない」は全体で 46.3% (40.1%)

その理由(複数回答)は、

「自分自身が制度をよく理解していない」が 49.1%(45.4%)、「必要書類の作成が複雑・面倒」が 30.6%(30.5%)、「不支給の場合に責任を問われる」が 18.4%(16.5%)、「支給決定までに時間がかかる」が 17.7%(17.3%)となっている。

○過去5カ年の勧奨率の推移

(単位:%)

集計項目	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
勧奨率	59.4	60.4	57.9	54.8	48.7
(内訳)					
医師	65.7	63.0	59.9	55.9	53.9
薬剤師	67.8	72.0	70.3	66.2	60.4
看護師	46.7	49.4	44.9	43.7	31.9
歯科医師	57.3	55.7	55.9	52.5	49.5
医療ソーシャルワーカー	-	-	-	-	41.5

(6)集中広報の評価

①専門雑誌の広告の認知率と評価について

- ・ 認知率(見たことがある＋見たような気がする) 36.2% (41.3%)
- ・ 専門雑誌の広告の評価は、「印象(記憶)に残った」が 64.9%(69.1%)、「興味や関心を持った」が 64.8%(68.6%)、「PMDAのホームページにアクセスしなくなった」が 50.3%(57.3%)

②テレビCMの認知率と評価について

- ・ 認知率(見たことがある＋見たような気がする) 26.3% (20.5%)
- ・ テレビCMの評価は、「印象(記憶)に残った」が 72.7%(62.3%)、「興味や関心を持った」が 72.6%(62.9%)、「PMDAのホームページにアクセスしなくなった」が 45.5%(46.5%)

③特設サイトの認知率と評価について

- ・ 認知率(見たことがある＋見たような気がする) 22.4% (33.6%)
- ・ 特設サイトの評価は、「印象(記憶)に残った」が 83.2%(79.8%)、「興味や関心を持った」が 80.4%(78.1%)、「役に立つ情報が得られた」が 78.4%(77.3%)

④院内・薬局ビジョンの認知率と評価について

- ・ 認知率(見たことがある＋見たような気がする) 18.8% (20.7%)
- ・ 院内・薬局ビジョンの評価は、「印象(記憶)に残った」が 77.3%(77.7%)、「興味や関心を持った」が 75.7%(76.3%)、「PMDAのホームページにアクセスしなくなった」が 68.2%(75.9%)

⑤新聞広告の認知率と評価について

- ・ 認知率(見たことがある＋見たような気がする) 17.5% (－)
- ・ 新聞広告の評価は、「印象(記憶)に残った」が 42.0%(－%)、「興味や関心を持った」が 43.4%(－%)、「PMDAのホームページにアクセスしなくなった」が 32.9%(－%)

⑥制度紹介動画の認知率と評価について

- ・ 認知率(見たことがある＋見たような気がする) 12.8% (17.3%)
- ・ 制度紹介動画の評価は、「印象(記憶)に残った」が 67.0%(63.5%)、「興味や関心を持った」が 65.5%(61.6%)、「PMDA のホームページにアクセスしなくなった」が 45.0%(49.3%)

(7)eラーニング講座の評価

①eラーニング講座の認知率と評価について

- ・ 認知率(受講したことがある＋試しに少しだけ視聴したことがある＋存在は知っている、聞いたことがある) 30.4% (31.8%)
- ・ 職種別での認知率は、医師が 29.4%(32.1%)、薬剤師が 42.6%(44.7%)、看護師が 16.4%(20.1%)、歯科医師が 31.7%(28.4%)、医療ソーシャルワーカーが 38.7(ー)%

②eラーニング講座の認知経路(eラーニング講座認知者ベース・複数回答)について

- ・ 医療関係雑誌 44.8% (34.2%)
- ・ インターネット(PMDA ホームページ) 37.0% (32.8%)
- ・ 勤務先での研修 26.0% (22.0%)
- ・ 学会・研修会・講演会 20.6% (18.5%)
- ・ パンフレット・リーフレット 18.2% (16.6%)
- ・ 所属する団体を通じて 15.2% (8.0%)
- ・ 人から聞いた・教えてもらった 14.2% (14.1%)
- ・ インターネット(バナー広告) 13.1% (12.4%)

③eラーニング講座の受講意思について

- ・ e ラーニング講座の受講意思は、「受講したい」13.1%(7.1%)、「余裕があれば受講したい」63.6%(52.7%)となり、受講に前向きな回答が 76.7%(59.8%)
- ・ 受講したくない理由としては「時間が長くなりそう」がもっとも多く 6.2%(13.6%)「興味がないので受講したくない」3.1%(6.6%)、役に立たなそう 1.8%(3.4%)